



# 福祉 と 防災

第3号 2023年1月15日発行



はっとり誠 無所属 46歳

逗子市議会議員(1期目)

議会運営委員会委員

総務常任委員会委員

議会報編集委員会委員

社会福祉士

防災士

## 福祉活動・防災活動に全力投球

イベントが多い秋の時期に、福祉・防災のイベント実施をサポートしました。イベントを通して、多くの人に気軽に楽しく知ってもらうこと、新たなネットワークを作ることを目的に進めています。

- ・総合防災市民イベント「ずし防災フェスティバル」
- ・混ざり合うアートフェス「みんなでアート2022」
- ・視覚に不安のある方の「ブラインドワールドサポートデー」
- ・知的障害のある方の「みんなでクリスマス」
- ・大学生による生活支援活動「お米一合運動」
- ・高校生による復興支援チャリティーコンサート「PESHIROCK」

街の課題解決としては、自治会館の調査で耐震補強が未実施だった箇所がわかり今年度中の工事を依頼したり、大規模な急傾斜地の神奈川県工事のための調整協力をしたりしました。

調査研究も日々行い、11月の逗子市議会定例会では、4つの項目を一般質問し、一定の成果が得られました。

お困りごとなどがありましたら、お気軽にご相談ください。

## 2022年10～12月 活動報告

✓ 地域活動協力 151件

✓ ご相談 37件

✓ 11月第4回定例会

※政務活動費使途報告

活動報告作成・配布 44,990円

静岡市視察交通費 7,340円

使用金額 計120,542円

残金 119,458円

あなたの声をお寄せください。

■メール

info@hattorimakoto.com

■電話

080-5095-5763

「ふくしとぼうさい日記」

毎日の活動報告

noteで  
毎日更新中

700日連続更新



## 静岡市災害ボランティアセンター視察報告

昨年10月24日に伊藤航平葉山町町議会議員と一緒に、9月の豪雨災害の被災地、静岡県静岡市災害ボランティアセンター葵区センター西ヶ谷サテライトに視察に行ってきました。

災害が起きた時にボランティアを受け付け、復興活動に結びつける災害ボランティアセンターの現状と、ICT化について、現地でも支援に入っていた横浜市社会福祉協議会の知人にお話を伺いました。

逗子で被災した場合に備えて、情報の収集と課題の整理に入ります。



大変な状況の現地

受付から派遣までICT化

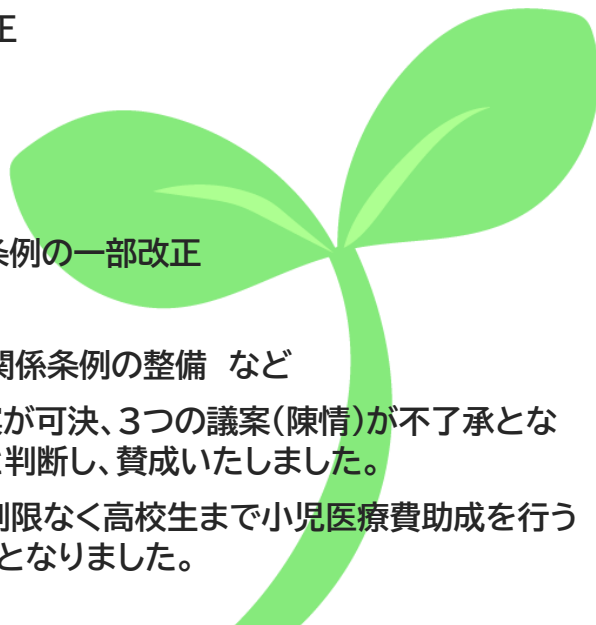
作業のための様々な資材

# ● 議会報告 令和4年第4回定例会 令和4年10月31日～11月17日

- ・逗子市小児の医療費の助成に関する条例の一部改正
- ・令和3年度逗子市各種決算の認定
- ・令和4年度逗子市一般会計等補正予算
- ・逗子市個人情報保護に関する条例の制定
- ・逗子市総合計画策定条例お曜日逗子市まちづくり条例の一部改正
- ・逗子市職員の定年等に関する条例の一部改正
- ・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備 など

など、計26の議案が上程されました。うち23の議案が可決、3つの議案(陳情)が不承となりました。はっとりは、議決した23の議案は妥当だと判断し、賛成いたしました。

特に小児医療費助成については、議員提案で所得制限なく高校生までも小児医療費助成を行う改正となり、福祉のまちづくりに向けて、大きな一歩となりました。



## 第4回定例会におけるはっとり誠の一般質問と答弁のまとめ

### 重層的支援体制の整備について

Q、福祉の総合相談窓口と支えあいの地域づくりの事業の一体的な実施に向けて、今後の方向性を確認。強化をお願いしたい。

A、問題が複雑化・複合化してから支援を開始するケースが多かった。課題はケースの掘り起こしである。高齢・障がい・子ども等関連部署と地域とが連携し、問題を抱える方に早期に支援が届くようにしたい。

### 元気な高齢者をめざす取組について

Q、感染症の影響で外出機会・社会参加の減少で体力が落ちた方が多い。今後の方向性を確認とあわせ、強化をお願いしたい。

A、新しい生活様式を取り入れた取組を行ってきた。感染症対策をしながら、高齢者サロンの運営、介護予防教室などを開催し、運動の習慣化を継続したい。

### 防災教育の推進について

Q、防災教育は、命を救うための大切な教育。児童生徒、学校の教職員、市役所職員への防災教育について、今後の実施方針について問う。

A、学校ごとの特徴にあわせた防災教育を実施の支援を行ったり、職員の研修や訓練をも検討して、防災教育の充実をより図りたい。

### 市立小中学校における感染症対策について

Q、現在感染症に対応した学級閉鎖の基準はあるが、学年閉鎖・学校閉鎖について基準がない。学年・学校閉鎖、学校における危機対応マニュアルが作れないか。

A、現在学年・学校閉鎖の基準はない。学校規模により状況が異なるので、適宜適切に判断し、学びの継続に力を注いでいきたい。

逗子を日本一の福祉の街にするために、引き続き邁進します。  
ホームページ、Facebook、Twitter、Instagramでも日々の報告掲載中。